



参加者募集

活動団体向け講習会 ボランティア活動団体応援講座

今こそ原点回帰！確かめあおう！

活動する意味×活動のやりがい

コロナ禍はボランティア活動にも大きな影響を与えています。

「活動を始めたきっかけ」を振り返りながら、活動する意味や、やりがい、これからのボランティア活動について考えてみませんか。

■日 時 令和5年1月12日(木) 10:00~12:00

■場 所 八潮市身体障害者福祉センターやすらぎ

■内 容 講演・グループワーク
「確かめあおう！活動する意味×活動のやりがい」

■講 師 埼玉県立大学保健医療福祉学部
准教授 保科 寧子(ほしな やすこ)氏

■対 象 者 ボランティア活動団体に所属している方

■定 員 38名(申し込み順) ■参 加 費 無料

■申込方法 令和5年1月5日(木)までに電話等でお申し込みください。

■申込・問い合わせ先
八潮市社会福祉協議会

TEL 048-995-3636 FAX 048-995-5287 ※土・日・祝日、12月28日~1月3日除く



令和4年度地域リーダー養成講座

やしおコミュニティ未来塾

～アドラー心理学の「勇気づけ」コミュニケーションを学び、
地域活動に一步踏み出そう～

■日 時 令和5年1月28日(土)、2月11日(土・祝)、25日(土)

全3回 10:00~12:00

■場 所 やしお生涯学習館 多目的ホール

■内 容 第1回「アドラー心理学の勇気づけコミュニケーションを学ぶ」
第2回「地域活動始動のきっかけをつかむ」
第3回「私と地域 地域デビューに向けての企画案作成」

■講 師 第1回 一般社団法人日本支援助言士協会会長 鶴田 恵美子(つるた えみこ)氏
第2回 神奈川県立保健福祉大学名誉教授 松島 信雄(まつい のぶお)氏
第3回 地域活動コーディネーター 吉岡 千代子(よしおか ちよこ)氏

■対 象 者 地域活動に興味がある方、コミュニケーション力を向上させたい方、
地域課題の解決方法を見つける方

■定 員 30名(申し込み順) 市内在住・在勤・在学の方優先

■申込方法 窓口・電話・メール・FAX

※メール・FAXの場合は、下記の内容を記載しありください。

件名に「やしおコミュニティ未来塾 参加申込み」

①氏名(ふりがな) ②団体名(NPOやボランティア団体等に所属している場合)

③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス

■申込期間 令和4年1月15日(木)から令和5年1月20日(金)まで

■申込・問い合わせ先 八潮市役所 市民協働推進課 ※平日8:30~17:15

TEL 048-996-2111(内線328) FAX 048-995-7367

メール shiminkyodo@city.yashio.lg.jp



事業報告

「地域福祉センター養成講座」～子ども支援編～

八潮市社会福祉協議会では子育てを取り巻く環境が変化する中、子どもの育ちに市民・ボランティアが関わることの大切さを学び、地域で子どもたちを育てていくための支援者を養成するため標記講座を実施しました。

＜実施日＞ 10月5日、12日、19日、26日、11月2日 いずれも水曜日 全5回

＜場 所＞ 八潮市身体障害者福祉センターやすらぎ <参加者> 16名

～内 容～

第1回目 子どもがより良く生きていくために、大人の支援の大切さ

講 師：子ども家庭福祉研究・研修機構 機構長 西郷泰之(さいごうやすゆき)氏
子どもの育ちを地域で支えていくための講演をしていただきました。
市民こそが活動できる領域として、成育支援と孤立、貧困、虐待等の発生
予防活動があることなど地域の活動についてお話しいただきました。



第2回目 ヤングケアラーってなに？子どもを取り巻く環境の変化

講 師：埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授 上原美子(うえはらよしこ)氏
ケアとお手伝いの違いや、子どもがケアをする社会的背景、埼玉県内の
子どもたちの現状等について講演いただきました。可能性と限界を理解した
上での関わり、つながりをつくることや、子どもたちが心理的に安心できる
場を地域に設けるとよい、など具体的なケアラー支援についてお話しいただきました。



第3回目 八潮市内の子ども支援の取り組み

説明者：八潮市子育て支援課職員

発表者：主任児童委員、市内子ども食堂運営者、学習支援教室運営者

まず、八潮市子育て支援課職員より市内在住の子どもの現状、子育て支援、
貧困対策について説明がありました。

その後、主任児童委員、八潮市内の子ども食堂、学習支援教室運営者の子
ども支援の取り組み、支援をしてよかったことや課題になっていることにつ
いて発表がありました。



第4回目 子ども支援から見えてきたこと～地域で子ども支援に関わるために～

講 師：三芳町社会福祉協議会 小沼和矢(おぬまかずや)氏

三芳町社協の子ども支援の取り組み(子ども支援団体等への間接支援、
子どもへの直接支援)の紹介、支援を通じて地域でどのような関わりが必要
なのかや、見えてきたことや感じたことについてお話しいただきました。

子どもたちの自己肯定感の向上のための取り組み、「あなたのことを大切
に思っています」が伝わるような支援、「ない」で差がつかないような支援
など配慮の大切さを学びました。



第5回目 子どもたちのために、できることから始めよう！地域との関わりの大切さ

講 師：子ども家庭福祉研究・研修機構 機構長 西郷泰之(さいごうやすゆき)氏

講座全体の振り返りをした後、各自の今後の活動についてグループで話し合
いました。既に活動をしている方も、そうでない方も「次のアクション」につ
いて考え、講座を終えました。

5回の講座をとおして、子どもにとって信頼される大人が大勢いる地域づくり、
子どもが自己選択・決定できる環境づくり、つながりあうことの大切さなど多く
のことを学びました。

お忙しい中、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

